狭山新茶の季節が到来！

～色は静岡、香りは宇治よ、
味は狭山でとどめさす～

狭山茶つくり唄で、静岡茶や宇治茶と並ぶ日本三大茶の一つとされる狭山茶は、これから新茶のシーズンを迎えます。

「飲む」「食べる」「体験する」など、狭山茶の楽しみ方は人それぞれ。4月29日には市内で一番早く新茶を味わえる「狭山新茶と花いっぱいまつり」も開催されます。茶どころ狭山で、新茶の爽やかな香りと、ほのかな甘味をご堪能あれ。

飲む

狭山市は茶産地としては冷涼な場所であるため、お茶を摘めるのは年2回程度（他産地は1年に4～5回）。寒い冬を乗り越え栄養を蓄えた茶葉が「狭山火入れ」と呼ばれる独特の仕上げを行うことで、コクのある濃厚な味の煎茶となっています。

食べる

市内の飲食店が狭山茶ペーストを使ったオリジナルのグルメを開発し、カレーやスイーツ、おこわ、パンなど約30種を販売しています。
問合せ 狭山市観光協会へ
☎2953-1205

↑このロゴマークを掲げるお店で食べられます

体験する

茶の葉に触れながら、柔らかな新芽の先端「一芯二葉」を摘み取ります。市内の茶園3店舗では茶摘み体験ができ、茶娘衣装を着たり、茶室でお抹茶体験をしたりすることができます。（有料）

4月29日(祝)　狭山新茶と花いっぱいまつり

時間　9時～ 14時15分　　場所　狭山市役所ロータリー ほか

新茶の「飲む」「食べる」「体験する」を楽しめる、茶どころ狭山の春の風物詩。
次のポイントを押さえて、ぜひ、お出かけください。

ポイント①
狭山市お茶大使が心を込めて一杯を提供
2月に開催された「狭山茶グランプリ」で「狭山市お茶大使」に任命された8名が、心をこめて淹れた新茶を配ります。

ポイント②
新茶をいち早く購入
今年初めて製茶された狭山新茶を購入できます。数量限定で、お楽しみ抽選券が付いています。

ポイント③
茶摘みを体験（無料）
市役所駐車場の茶畑で茶摘み（先着順）ができます。摘んだ茶葉と交換でステキなプレゼントがもらえます。

問合せ農業振興課へ内線2532

平成31年度 市長施政方針

平成31年度第1回定例市議会（会期2月20日～3月14日）で、小谷野市長が平成31年度の施政方針として、市政運営の基本的な考えや重点施策などを述べました。
今月は、その概要をお知らせします。

第1回定例市議会で施政方針を述べる小谷野市長

【施政方針の要約】

平成31年度の予算案は、名実ともに次の時代への架け橋となるものです。人口が減少する中でも豊かさを実感でき、希望が溢れるまちは、間違いなく多くの市民にとって住み続けたい場所となることでしょう。そのためにも、さまざまな課題に正面から向き合い、自治体としての持続可能性を高めていく必要があります。

「若い世代を増やす」では、子育て世帯などの定住を一層促進するとともに、若い世代の結婚、妊娠、出産の希望を叶えるための支援を充実させます。また、保育施設の整備の促進や学童保育室の整備を図るなど、仕事と子育ての両立支援を進めます。

教育では、新たに小学生の学習支援を実施するとともに、小学校のトイレの洋式化を進めます。また、小・中学校の無線LAN（ラン）の整備など学習環境の充実に努めます。

「まちと産業に活力を」では、中小企業などの販路開拓や新製品開発などを支援するとともに、創業希望者の起業などを総合的に支援する狭山市ビジネスサポートセンター業務を4月に開始します。

農業では、狭山市産の里芋のさらなるブランド化を目指すとともに、お茶を活用した新商品などの開発にも企業や大学、商工会議所と連携して取り組みます。

まちづくりでは、入曽駅周辺整備事業の詳細設計や換地設計などを行います。また、都市計画道路の整備では、「狭山市駅加佐志線」「笹井柏原線」の用地取得を進めます。

「楽しめる健康高齢社会を」では、おりぴぃ健康マイレージ事業の実施や健康遊具の設置などにより、健康意識のさらなる高揚を図ります。また、健康相談や健康教育などを行うとともに、各種がん検診などの受診率の向上を目指します。

福祉の総合的な推進については、さまざまな生活上の問題を抱える世帯を総合的に支援する体制の充実を図ります。

文化振興では、30回目を迎える「さやま大茶会」の充実を図ります。

「市政運営をみんなの力で」では、協働を担う人材の育成や協働によるまちづくりをより実効性のあるものにするための仕組みづくりに取り組みます。

公共施設については、公共施設再編計画に基づき、用途を廃止した施設を解体するとともに、再編が必要な施設について、具体的な方法などの検討を進めます。

今年はまさに、平成と新時代をつなぐ一年となります。新時代には、2025年問題や2040年問題をはじめ数々の難問が待ち受けていますが、多くの先人たちと同様、前向きに努力をし、どんな事態にも恐れることなく立ち向かい、それを乗り越えることで狭山はもっと強く、魅力あるまちになっていくものと信じています。

本市が新時代に力強い一歩を踏み出すことができるよう、初心である「情熱一番」をモットーに、全力で市政運営に取り組んでまいります。

次のページからは4つの重点テーマに沿って、今年度に取り組む主な重点事業をお知らせします。